

開講学科	生命情報学科	前橋工科大学 シラバス			
科目名	プログラミング言語・演習Ⅱ	標準対象年次	選択/必修	科目コード	
		2年次	必修	15001901	
担当教員	関口達也	単位数	学期	曜日	時限
		4単位	前期	月曜日	3・4時限
授業の教育目的・目標	C言語で実用的なプログラムを作成するためには欠かせない文法事項を学ぶ。				
学科の学習・教育目標との関係	生命情報学における必須技能であるプログラミングを習得する。				
キーワード	C言語、文字列、ポインタ、構造体、ファイル処理、標準ライブラリ				
授業の概要	実用的なプログラムを作成するためには、目的にあわせたデータ構造の定義、関数単位での機能設計、ファイルによる入出力、などが必要となる。プログラミング言語・演習Ⅰで学んだC言語の文法事項に続いて、ポインタ、構造体、ファイル処理、標準ライブラリ、などの実用的なプログラムを作成するためには欠かせない文法事項を学ぶ。また、演習課題を通してこれらの利用方法を習得する。				
授業の計画	第1回： 講義概要、統合開発環境の利用方法 第2回： プログラミング言語・演習Ⅰの復習課題（1）条件分岐、繰り返し 第3回： プログラミング言語・演習Ⅰの復習課題（2）配列 第4回： プログラミング言語・演習Ⅰの復習課題（3）関数 第5回： 文字列（1）文字列の扱い方 第6回： 文字列（2）文字列操作の標準関数 第7回： ポインタ（1）ポインタとは 第8回： ポインタ（2）ポインタとメモリ確保 第9回： ポインタ（3）ポインタと配列 第10回： 構造体とユーザ定義型（1）構造体とは 第11回： 構造体とユーザ定義型（2）構造体の配列 第12回： 構造体とユーザ定義型（3）ユーザ定義型 第13回： ファイル 第14回： 総合課題（1） 第15回： 総合課題（2）				
受講条件・関連科目	プログラミング言語・演習Ⅰ				
授業方法	講義および演習				
教科書・参考書	開講時に指示する。				
成績評価	・試験（90%） ・レポート（10%）				
履修上の注意	演習を課すので、PCルーム1の使い方に慣れておくこと				